

# デジタルなまず V2 の接続環境について (別紙 No.7)

**【重要】** 高度利用向け デジタルなまずV2・スーパードラゴンには、インターネット常時接続回線が必要です。  
既設LANに接続される場合は、下記条件を満たしていただく必要があります。

	デジタルなまずV2	スーパードラゴン
インターネット回線	光・ADSL・CATV	
LAN端子	RJ-45 カテゴリー5以上 1ポート	
ルーター(NAT 変換)	必要	
インターネットプロトコル	Ipv4 自動 IP・固定 IP 選択可能 自動IP取得の場合は、DHCPサーバーが必要	
セキュリティーポート・ポリシー	TCP:9001 LAN⇒WAN開放 UDP:53 LAN⇄WAN双方向開放	TCP:80・443 LAN⇒WAN開放 http・httpsでの通信制限が無い事 OPENVPN の使用制限が無い事
通信速度	接続ポートより、ストレスなくインターネットが閲覧出来るのであれば、安全に利用出来ると判断致します。	

セキュリティーの都合上、上記接続条件を満たせない場合は、緊急地震速報受信機用の新規インターネット回線をご準備下さい。その際、**ルーター設置・プロバイダー契約を、お忘れにならないよう、ご注意ください。**

※送信サーバー(グローバル IP) が必要な方はご連絡ください。

総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション 総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター

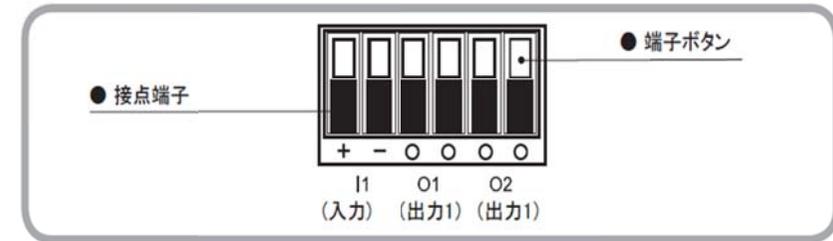
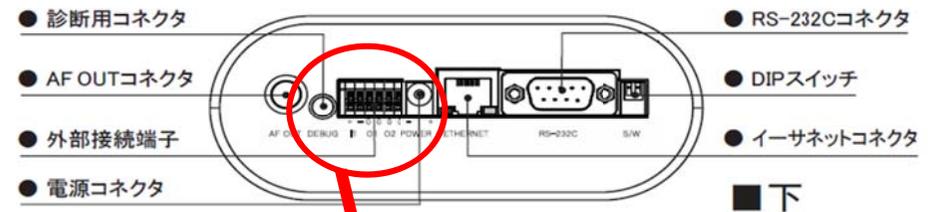
奈良県奈良市押熊町 557-7 4F

# デジタルなまず V2 の外部接続について

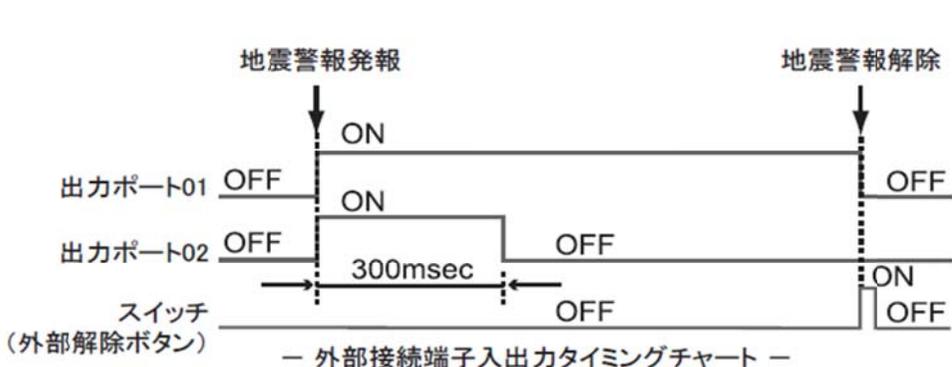
- ※ 弊社または販売元の指定業者の指示なく外部接続端子に接続しないでください。
- ※ 外部制御機器を接続する時は、各端子のボタンを軽く押してコードを差し込んでください。



■本機器の下図



- ◆ 入力 出力ポート O1 を解除 (OFF) させるスイッチ (外部解除ボタン) を 使用する場合に接続します。
  - ※ 外部解除ボタンを使用しなくても下記解除方法①で可能です。
  - ※ 無電圧ループ接点のため、電圧を与えないでください故障の原因となります。
- ◆ 出力 出力ポートは O1 と O2 の 2 チャンネルです。
  - 出力ポート O1 は地震警報と同時に ON になります。地震警報後に解除するまで ON のまま続きます。
  - 出力ポート O2 は地震警報と同時に 300msec (0.3 秒) 間のみ ON になります。(JEMA-HA 規格準拠)
  - 出力ポート O1 の解除方法は①②どちらかの方法を実施すれば解除できます。
    - ※ O1、O2 ともに無電圧ループ出力です。



総発売元  
 緊急地震速報のリーディングカンパニー  
 株式会社 J コーポレーション 総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F

# 放送設備との接続について

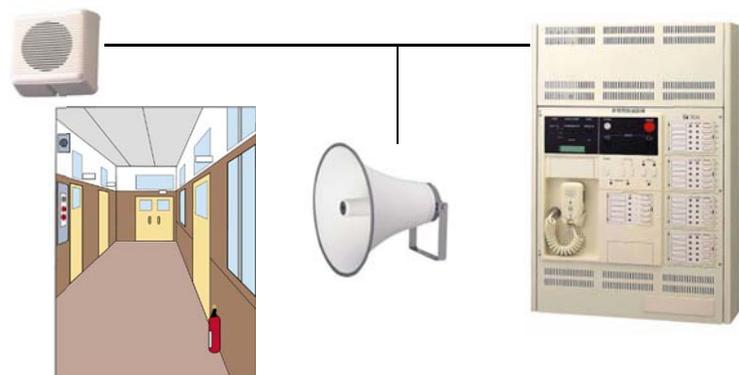
アンプ側との接続には、音声はAF OUT コネクターとの接続になります。  
接点端子は通常 O1 端子(メーク接点)に接続します。

## 接続工事に必要なもの

- ①接点接続用ケーブル CPEV 0.5 or 0.65 - 2P 相当(単芯)
- ②音声ケーブル RCA-PIN 付音声シールドケーブル相当  
(放送アンプ側端子に合わせて用意してください)
- ③LAN ケーブル カテゴリー5 同等以上のケーブル (RJ-45 10Base-T )  
(設置場所までの距離が必要です。)
- ④AC100V 電源 100V 60/50Hz (設置場所付近に必要です。)

## 接続に関して注意事項

- I 一斉起動でなまず接点容量を超えない事。  
(必要に応じて、リレーを使用する。)
- II 放送設備側がなまず音声出力に対応できるか調査する。



一斉 放送設備

音声ライン出力  
RCA MONO, 800mV、-9dBm/600Ω 不平衡

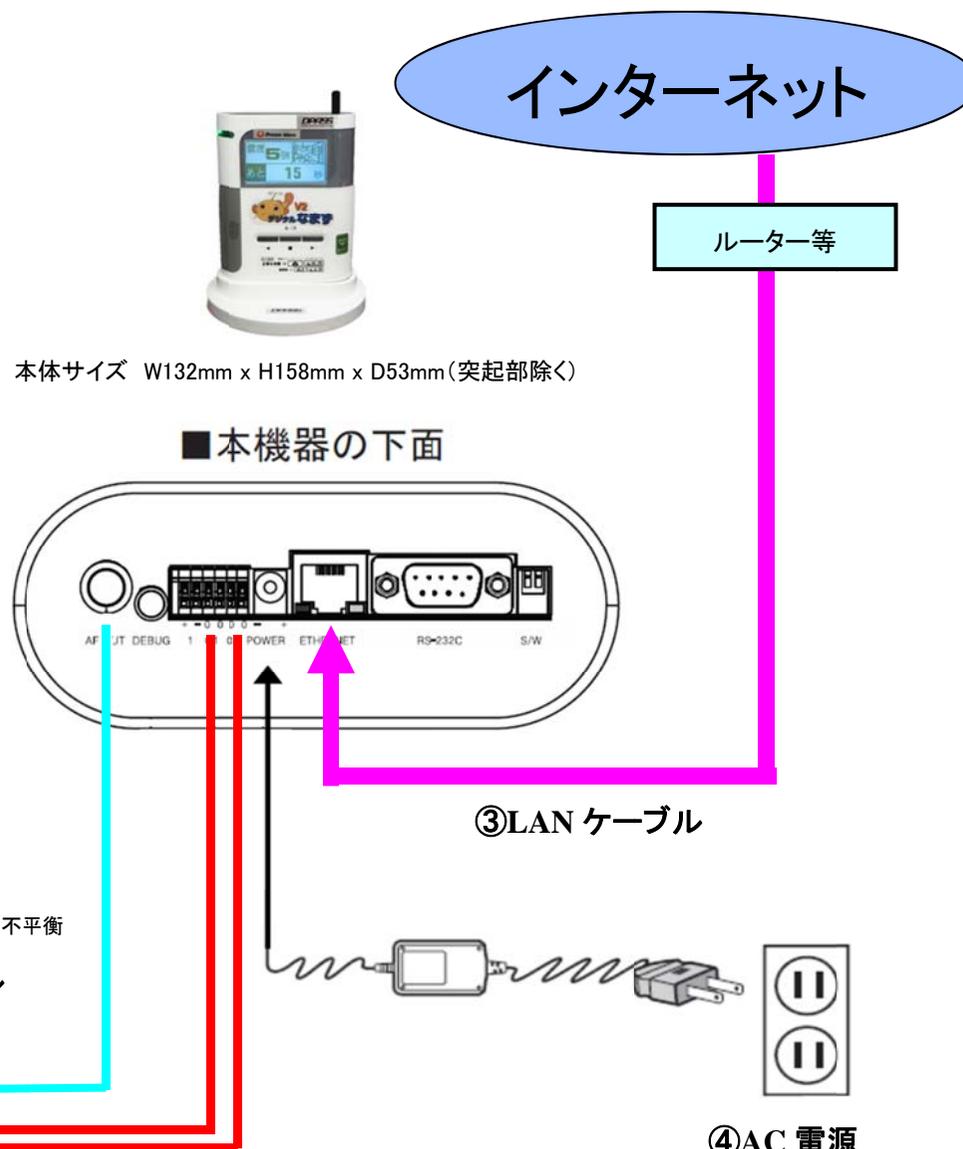
### ②音声ケーブル

### ① 起動接点用ケーブル

接点容量

定格電圧: MAX 40V 両チャンネル(O1,O2)瞬間 Peak 1500V

定格電流: MAX 80mA 両チャンネル(O1,O2)瞬間 Peak 240mA



本体サイズ W132mm x H158mm x D53mm(突起部除く)

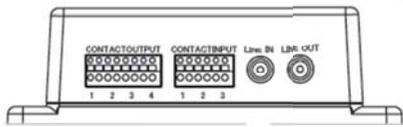
## ■本機器の下面

### ③LAN ケーブル

### ④AC 電源

総発売元  
緊急地震速報のリーディングカンパニー  
株式会社 J コーポレーション  
総合窓口 0742-53-7833  
業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F

# 拡張ユニットを使用した放送設備との接続について

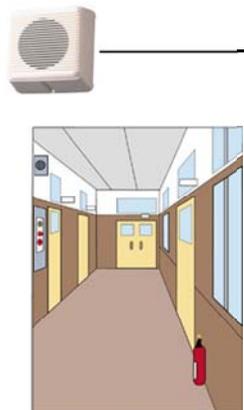


本体サイズ リブ無 W= 155.6 H= 45 D= 125.6 mm

アンプ側との接続には、音声はAF OUT コネクターとの接続になります。  
接点端子は通常 O1 端子(メーク接点)に接続します。

接続工事に必要なもの

- ①接点接続用ケーブル CPEV 0.5 or 0.65 - 2P 相当(単芯)
- ②音声ケーブル RCA-PIN 付音声シールドケーブル相当  
(放送アンプ側端子に合わせて用意してください)
- ③LAN ケーブル カテゴリー5 同等以上のケーブル (RJ-45 10Base-T )  
(設置場所までの距離が必要です。)
- ④AC100V 電源 100V 60/50Hz (設置場所付近に必要です。)

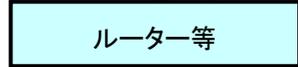


一斉 放送設備

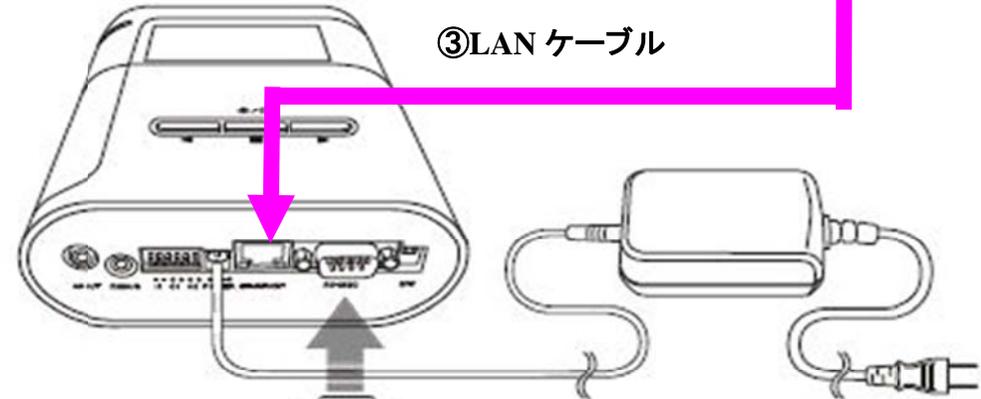
音声ライン出力  
RCA MONO 0dBm/600Ω 不平衡

②音声ケーブル

① 起動接点用ケーブル



③LAN ケーブル



④AC 電源

・本製品

接点容量定格: DC38V/ 1000mA

総発売元  
 緊急地震速報のリーディングカンパニー  
 株式会社 J コーポレーション  
 総合窓口 0742-53-7833  
 業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F